

## 老人ホームの裏庭で

ミゲル：なんてこった、君に赤が良いって言っただろう。

スルド：ねえ、ミゲル、君が言ったようにオープンカーだってかなりだぞ。その上新車だ。

ミゲル：正規の手続き書があるか？ガソリンは満タンかね？

スルド：そう、そう、充分だ。

ミゲル：ああ、どんな色でもかまわないが、やはり赤が良かったなあ、ここに現金を持って来たよ、スルド。多分少し足りない、しかしこれ以上は無理だ。

スルド：分かった、分かった、キーだよ。書類は車のボックスにあるよ。

ミゲル：エミリオ、運転は君だよ。

エミリオ：私？ しかしいづ前に免許が取り消しになった。

ミゲル：少なくとも前には持っていただろう、それなら、アントニア、運転出来るのではないか？

アントニア：私？とんでもない、しかし、貴方が出来るのでは、ミゲル？

ミゲル：いいや、信じられるかい？運転の機会も実際に習ったこともない。では、君、ロックフェレだ。君は優秀な運転手の様相をしているよ。

## 車を走らせる

アントニア：ああエミリオ、頑張っ！

ミゲル：自由だ、私達は自由だ！

アントニア：何故こんなことするの、ミゲル？歩行器を捨ててしまうなんて。

ミゲル：君にはもう、必要ないよ。私達には自動車がある。

アントニア：しかし、ある時期には車を降りることもあるでしょう。貴方が言っていた。

ミゲル：心配しないで、今はね、君が必要としたときは求めてあげるよ。

アントニア：ミゲルお願い、寒いので屋根を閉めて。

ミゲル：閉める？ 真実、言ってることが分からない。

アントニア：調子が狂うわ、肺炎になりそう。

エミリオ：私も本当に寒い。

アントニア：そうでしょう？

ミゲル：信じられない、ひどい人達だ

アントニア：屋根が一人で閉まったわ。

ミゲル：アントニア、どう思う？ すごい技術だろう

アントニア：何と素晴らしい、ジェームス ボンドの映画のようだわ。これでいいわ。

サービスエリアに止まってくれる、薬を飲むための水が欲しいの。

ミゲル：言っただろう、アントニア？薬は持ってくるなど。老いの束縛とはさようならだ。

アントニア：でも便秘と血圧に薬だけ持って来たの、胃の薬と糖尿病と関節痛の薬は置いてきたわ... わああ... 何て乱暴なの、今の見た！

ミゲル：ロックフェレ、どこを走っているのだ？反対車線ではないか？

エミリオ：いいや、どうかな、見てみよう。

## 老人ホームで

女性管理人：他の車と衝突していたら、どうなったと思いますか、この事件がうわさになって新聞報道

でもされたら、このホームも閉鎖されたでしょう。ミゲル、この事件が法の影響の可能性もある大変なことだということは気づいているのでしょうか。ミゲル聴いていますか。

ミゲル：エミリオは大丈夫ですか？

女性管理人：エミリオは専門家の治療を受けています。何かさらに問題が起こるといけないから、上には行かないで。

ミゲル：しかし、回復しているのでしょうか？

女性管理人：ねえ、ミゲル、エミリオは長い間、意識不明だったの、麻酔や入院の混乱で。このようなことはアルツハイマーを悪くしてしまいます。今後は介護をずっと続けて行かなければならないわ。だからもう問題を起こさないでね。ミゲル、私はすごく重要なことを言っています。

### 食堂で

アントニア：ミゲル、食べないの？別なものを頼みますか？